

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	緑化推進事業					事務事業コード	01808
部名	都市建設部	課名	みどり公園課	係名	みどり公園係	部課コード	050300

1. 事業概要

総合計画コード	5311	4111	5121	5322	
事業年度	年度 ~ H 年度		事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業	
法令等の義務付け	<input type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input checked="" type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務			<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 都市緑地法 朝霞市緑化推進条例 朝霞市生け垣設置奨励補助金交付要綱	
めざす目的成果	環境の保全、防災、景観の形成、レクリエーションなどの機能を持つ貴重な緑の減少に歯止めをかけ、現存する緑を保全するとともに、市街地における緑化を推進している。				
事業内容	特別緑地保全地区等の維持管理と民間所有緑地の管理に対する支援を行うとともに、生け垣設置の奨励などにより緑化の推進を図る。				
事業手法	<input type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 市民等との協働 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 【委託等】緑地管理にかかる工事等、緑地取得にかかる測量・土地鑑定・生態系調査等、計画等策定にかかる委託業務 【補助金】保護地区・保護樹木にかかる緑化推進奨励補助金(市単独)、生け垣設置奨励補助金(市単独)				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・緑化推進会議の開催    ・生物多様性市民懇談会の開催 ・緑化推進奨励金の支給    ・生け垣設置奨励補助金の支給 ・特別緑地保全地区等の管理    ・緑地管理ボランティアの支援				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		27,542	39,815	26,546	
	財源内訳	[イ]国庫支出金		4,803		
		[ロ]県支出金		1,000	1,000	
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他				
		[ホ]一般財源	27,542	34,012	25,546	
b 人件費		5,862	4,763	8,794		
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		33,404	44,578	35,340		
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.80 人	0.65 人	1.20 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	時間	時間	時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		・報酬(緑化推進会議)384千円    ・報償費(生物多様性市民懇談会)16千円 ・旅費(緑化推進会議)116千円    ・需用費(ボランティア消耗品、種子、肥料等)461千円 ・役務費(不動産鑑定等)374千円    ・委託料(除草、特別緑地保全地区管理等)4,211千円 ・使用料・賃借料(借用緑地の地代)5,400千円    ・工事請負費(特別緑地保全地区改修等)2,291千円 ・負担金、補助及び交付金(緑化推進奨励金等)13,293千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活	①	保護地区追加指定	箇所 ( 0 )	1 ( — )	1 ( — )	1 H 32 年度
成	①	保護地区面積	ha ( 8.3 )	10 ( — )	10 ( — )	10 H 32 年度

### 3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> 樹林地の減少や高木の伐採が進んでおり、緑の保全に対する要望が増加すると考えられる。樹林地や樹木の保全や維持管理には、税金等を含めて多額の費用がかかるため、市が奨励金を交付するなど、市が保全に関与することが必要である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 保護地区及び保護樹木の追加指定が進んでいない。また、開発行為等により、指定解除が多くなっている。保護樹木については、管理に手間がかかるため指定解除の希望が多い。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入> 思いやり: 人の心を癒す貴重な現存する緑を保全し、市街地における緑化を推進した。 参加と協働: 市民ボランティア団体による緑地の維持管理や民間所有の緑地への支援を行った。 経営的な視点: 効率的な緑地の管理を行った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 保護地区及び保護樹木への奨励金や生け垣設置奨励補助金については、緑の保全のために必要なものと考えている。		

### 4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から ) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで )			
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小
今後の取組方針	見直しの方向性	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大 (実施時期 : H 年度) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期 : H 年度)		
	方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	みどりの基本計画に基づき、貴重な緑の保全のために緑地の管理を継続する。		